

美唄市地域おこし協力隊募集企画（宮島沼・美唄湿原 生物保全推進員）

企画内容	
受け入れ担当課	生活環境課環境係
隊員の伴走者（役職・氏名）	①担当職員：主事 安孫子 ②担当職員の上司：係長 安達
協力隊を採用して 解決したい地域課題	宮島沼・美唄湿原を中心とした自然環境保全・自然保護活動が十分でない
導入の目的	マガンやハクチョウなど宮島沼に飛来する野生動物や、ヨシやその他湿地に特有な植物の調査・モニタリングを実施し、環境学習会や普及啓発イベントの開催を通して、貴重な野生動植物の生息地である宮島沼や美唄湿原の保全を図る。
活動のゴール・方向性(ビジョン)	協力隊活動満了後には、会計年度任用職員として宮島沼水鳥・湿地センターに勤務し、宮島沼や美唄湿原の保全に向けて、調査研究に従事してもらうため、必要な知識修得と経験を積んでいただきます。
活動のテーマ	宮島沼・美唄湿原における野生動植物の調査、モニタリング及び環境保全活動の推進
募集コンセプト・テーマ	宮島沼・美唄湿原 生物保全推進員 日本最北のマガンの渡りの中継地である宮島沼で、豊かな自然を守り、その魅力を伝える仕事です。
こんな方にオススメ	・豊かな自然を相手にした仕事を探している方 ・野生動植物を対象とした仕事を探している方 ・ネイチャーガイドに興味のある方
任期後のキャリアイメージ	会計年度任用職員として宮島沼水鳥・湿地センターに勤務
採用予定人数	1名
担当ができる隊員へのサポート	貸し家の情報提供ほか
活動内容	宮島沼水鳥・湿地センターに勤務し、職員と一緒に宮島沼や美唄湿原の野生動植物の調査研究に加わっていただき、環境学習会や普及啓発イベントの企画・開催のほか、情報発信、宮島沼でのガイド等に従事していただきます。
3年目の目標	宮島沼や美唄湿原の保全活動を推進する中核的人材として、中長期間に及ぶ調査研究に参加する。
2年目の目標	1年目に収集した調査データの集計と分析、報告書を作成し、活動内容を宮島沼水鳥・湿地センターにおいて開催する環境学習会・普及啓発イベントにおいて発表（1～2回程度）する。
1年目の目標	宮島沼や美唄湿原の自然環境や野生動植物に関する基礎知識を習得し、調査・モニタリング及びセンター業務の基礎技術を身につける。
3年目の活動内容	○宮島沼＆美唄湿原 ・マガンの長期個体数モニタリング ・酪農学園大学等研究機関との共同研究 ・調査結果を活用した保全管理手法の提案 ・宮島沼水鳥・湿地センター事業の企画立案及び運営 ・展示・普及啓発事業の改善提案 ・会計年度任用職員としての就任を見据えた専門知識及び実務能力の習得
2年目の活動内容	○宮島沼 ・マガンの飛来数や自生植物の生育状況等の調査データの集計と分析、報告書の作成 ・宮島沼水鳥・湿地センターに事務局を置く市民団体「宮島沼の会」の活動支援 ・宮島沼について語る会の開催 ○美唄湿原 ・自生植物の生育分布状況調査 ・土壌・水質調査 ・美唄湿原を散策するガイドツアーの開催
1年目の活動内容	○宮島沼 ・マガンの飛来数調査、雁観会、植物観察会、外来種調査・除去活動に参加 ・マガンのねぐら入りを見学するバスツアーの開催 ・宮島沼訪問者のガイド実践 ・児童が参加する活動組織「マガレンジャー」の行事の企画立案、参加・随行 ・宮島沼水鳥・湿地センターの管理運営業務 ・宮島沼の周辺農家の方々との信頼関係の構築

1 年目の活動詳細 (着任 3 ヶ月間)	・宮島沼水鳥・湿地センター職員に同行し、調査・モニタリング・フィールドワークに携わる。 ・宮島沼ブログ、SNSによる情報発信 ・周辺農家や関係各所への挨拶回り
1 年目の活動詳細 (着任 3 ヶ月～6 ヶ月)	・宮島沼水鳥・湿地センター職員に同行し、調査・モニタリング・フィールドワークに携わる。 ・環境学習会・普及啓発イベントの企画立案、準備 ・宮島沼の訪問者や宮島沼水鳥・湿地センターの来館者へのガイドを務める。 ・宮島沼ブログ、SNSによる情報発信
1 年目の活動詳細 (着任 6 ヶ月～9 ヶ月)	・宮島沼水鳥・湿地センター職員に同行し、調査・モニタリング・フィールドワークに携わる。 ・環境学習会・普及啓発イベントの開催 ・宮島沼の訪問者や宮島沼水鳥・湿地センターの来館者へのガイドを務める。 ・宮島沼ブログ、SNSによる情報発信
1 年目の活動詳細 (着任 9 ヶ月～12 ヶ月)	・宮島沼水鳥・湿地センター職員に同行し、調査・モニタリング・フィールドワークに携わる。 ・環境学習会・普及啓発イベントの開催 ・宮島沼の訪問者や宮島沼水鳥・湿地センターの来館者へのガイドを務める。 ・宮島沼ブログ、SNSによる情報発信 ・着任開始から現在まで行ってきた活動内容を整理し、次年度に向けて準備を進める。